

自由課題:緩和ケアチームに紹介された患者のうち在宅医療、緩和ケア病棟への  
 転院数の増加  
 (平成29年7月1日～12月末日)

施設名	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
54 日生病院	在宅もしくは緩和ケア病棟での退院が介入患者数併せて50%とする(2016年度は退院が37%、転院時訪問看護を導入が9%、緩和ケア病棟へ転院は2%)	患者が自分らしく生きぬくため、希望する場所で過ごせるよう早期に希望を確認し、多職種で情報を共有し、症状緩和や調整を行う	介入時より主治医、患者へ情報や希望を伺い、緩和ケアチームカンファレンスで情報共有を行った。患者が自分のことについて考えることができるように身体症状緩和は早期にできるように必要な薬物療法、RTなどを行った。社会的なサポートの準備も並行し介護保険の申請、そして在宅への移行のときには訪問薬局や訪問看護を必要な人には導入していくことができた。4月から12月介入患者123名のうち退院は35名(29%)、訪問看護導入で退院は13名(11%)、緩和ケア病棟転院は3名(2%)であった	介入患者全体の50%は看取りを行った。今後ACPについて、医師、看護師への勉強会を開く。